

授業科目 音声障害

【担当教員名】 亀田和夫	対象学年	3	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

<概要>

発声器官、特に喉頭に起因する話し言葉の障害を音声障害という。正常な発声についての既知の知識を整理し、声の評価について知識を深める。その上で音声障害をひき起こす疾患と、障害の治療法を学ぶ。

<学習目標>

1. 発声とその障害についての基礎知識を獲得する
2. 音声障害をひき起こす疾患について学ぶ
3. 音声治療についての確かな知識を得る

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	発声のしくみ	1	
2	発声の規定要因	1	
3	声の評価	1	
4	音声障害をきたす疾患（1）	2	
5	音声障害をきたす疾患（2）	2	
6	音声障害の治療	3	
7	喉頭摘出の音声リハビリテーション	3	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	音声障害	菊安誠	建帛社	2001年 2600円 ISBN : 4-7679-4514-3
参考書	音声障害の臨床	広瀬肇	インテルナ出版	1998年 3700円 ISBN : 4-900637-04-2
その他の資料				

【評価方法】

出席、演習中の応答、レポートの成績、定期試験の成績を総合評価する。

【履修上の留意点】

音声障害と音声障害演習は随時時間を交換して行う。